

別 記

様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 25日

(宛先)

滋賀県知事殿

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県湖南市柑子袋373番地

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
サンディック株式会社滋賀工場
滋賀工場長 菅野 隆

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、事業者行動計画を策定(変更)事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	サンディック株式会社 代表取締役社長 花平 茂之
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都中央区八重洲1-4-22 モリタニビルディング83 3階

1 事業所の概要

事業所の名称	サンディック株式会社 滋賀工場								
事業所の所在地	滋賀県湖南市柑子袋373番地								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	8	2	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 プラスチックシート製造業			
事業の概要	OPSシート製造								
従業員の数	52人			操業時間		24時間/日			
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 任意提出事業者								
主要な設備	ボイラ	5	台	熱源設備		台	照明設備	150	台
	コンプレッサ	4	台	空気調和設備	45	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	令和6	年度	報告対象年度	年度
	終了 年度	令和8	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

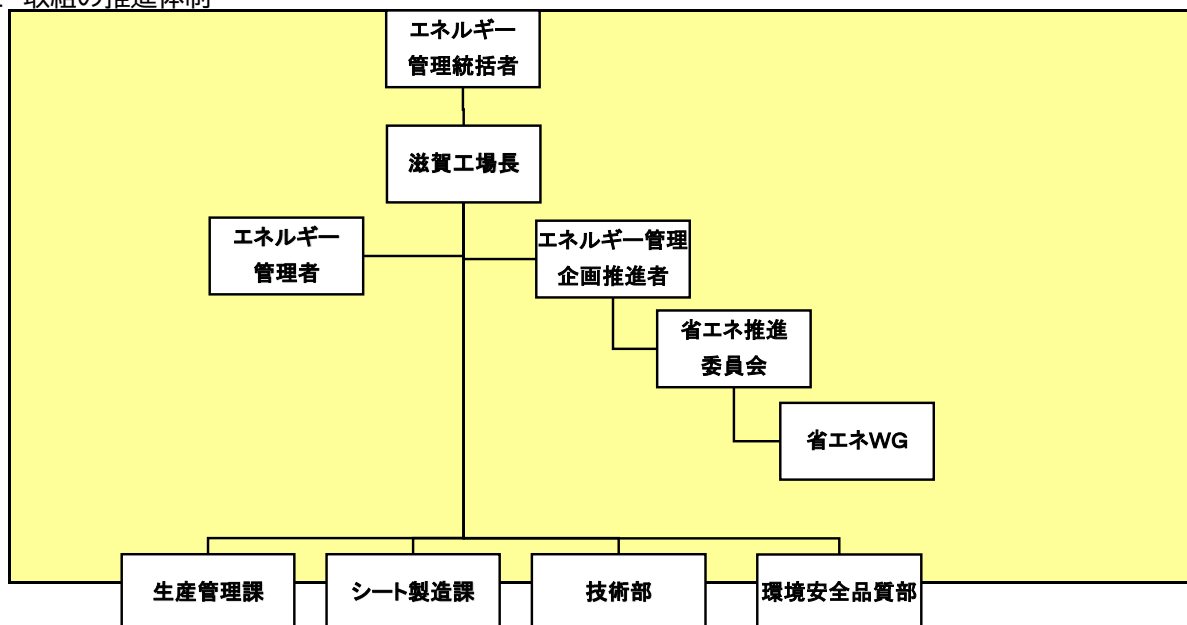
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

【基本方針】

- ・OPSのリーディングカンパニーとして、よりよいサービスを提供し、お客様から信頼されるパートナーになります
- ・資源や環境課題に真摯に取り組み、製品と事業活動における安全を確保します
- ・法と社会規範を守り、社会と共に歩みます
- ・社員の個を尊重し、働き甲斐とチームワークを大切にします

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

令和3～令和5の3か年に於いて、下記の取り組みを行った。

- ・直行率の向上
- ・照明のLED化(事務所及び倉庫)R3:6灯、R4:倉庫52灯、R5:事務所23灯実施)
- ・蒸気・熱媒配管・蒸気バルブ等の断熱強化を行いエネルギーロスの削減に努めた。(R5年度テナ断熱強化実施)
- ・省エネワーキンググループ、省エネセミナー等実施し省エネ活動推進強化に努めた。
- ・旧棟循環水ポンプ能力変更(55KW→45KW)R3.8月実施・運用
- ・6号ロール温調装置更新し蒸気使用量削減を図る。R4.12月実施
- ・電力低減ユニットを導入し、電力量削減を図る。第一期(R3)、二期(R4)実施
- ・購入電力をグリーン電力に切り替える。R5.4月より実施
- ・ISCC plus認証取得。バイオマス原料使用(R5.10月認証取得)

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	直行率の向上(生産条件の適正化等)に取り組み、直行率の改善を行いエネルギー使用量の削減を行う。	令和6年～8年	
2	運用改善	蒸気・熱媒配管乾燥炉等の保温補修・断熱強化を行い蒸気使用量削減に取り組む。	令和6年～8年	
3	運用改善	不要機器の電源カット・消灯を行い、電力削減に取り組む。	令和6年～8年	
4	設備導入	照明LED化を進め、電力削減に取り組む。(事務所及び倉庫)	令和6年～8年	
5	運用改善	生産停止時の不要電力停止を検討・実施する。	令和6年～7年	

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	HFCs	フロン類の確実な回収及び破壊への協力	令和6年～8年	
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
原単位「温室効果ガス排出量[t-CO ₂]÷生産量[t]」で前年比1%削減を目標とする。 基準年度(R5年度)原単位:0.321 [t-CO ₂ /t] 1.相対評価原単位:相対比較のため、各年度実績計算時のCO ₂ 排出係数は基準年度の係数を使用する。((4)エネルギー等原単位の推移の値に使用) 2.実績評価原単位:各年度の基礎排出係数を使用 3.調整後評価原単位:各年度の調整後排出係数を使用(非化石燃料化・クレジット使用を含む総合評価) 従来通り、1.の原単位にて目標設定するが、評価にあたっては2.3.の評価値も考慮する。	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の 実績	実績報告				
			(R6)年度	(R7)年度	(R8)年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー 使用量	KL	5,285					
温室効果ガス 総排出量	t-CO ₂	8,749					
エネルギー起源 CO ₂	t-CO ₂	8,741					
非エネルギー起源 CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂	8					
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推 移		0.321					

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	廃熱発電システムによる電力供給導入検証を行う。
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R6)年度	(R7)年度	(R8)年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	2,006					
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	1,998					
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.000					
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台						
上記のうち 次世代自動車等の 数	台						
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	グリーン購入	購入電力をグリーン電力継続する。	令和6年～8年	
2	環境マネジメ ントシステム (EMS)	2001年に取得したISO 14001を維持する。	継続	
3	3R	製造時に発生する廃プラスチック(OPSシート)のリサイ クル処理(RPF化)	継続	
4	SDGs	ISCC plus認証、バイオマス原料使用の継続	継続	
5				